

中 大和中だより

【学校教育目標】

意志と努力で輝く大和中生
元気なあいさつ きれいな学校(凡事徹底)
見通しある学習 打ち込む活動(自主自立)
みんなで協力 思いやる心(和顔愛語)

和光市立大和中学校 〒351-0112 埼玉県和光市丸山台2-8-8
Tel 048-461-2143 メールアドレス yamato@wako-city.ed.jp
ホームページ <http://yamato.wako-city.ed.jp/>



「7月号」

～令和5年7月3日発行～

備えあれば憂いなし

校長 佐藤 真二



今年の梅雨明けは「平年並み」との予想ですが、ここ数日は真夏のように暑い日が続いています。5月以降、体育祭、中間テスト、3年生の修学旅行、運動部の学校総合体育大会、そして期末テストと多くの行事が続きました。忙しい中でしたが、これらの経験は、生徒たちを大きく成長させるものだと感じています。

さて、3年生の修学旅行は、1日目は台風2号の影響で新幹線が午前中運休となり、臨機応変の対応が求められました。朝6時ごろに和光市駅に集合したものの、一時帰宅し、新幹線の時刻決定後、改めて時間変更の指示を連絡網にて行い、東京駅まではクラス別での移動とし、5時間遅れのスタートとなりました。京都駅への到着も遅れ、当初予定していた奈良観光は断念し、その代わりにバスで1時間ほど、平安神宮や鴨川など京都を周遊しました。その後は晴天に恵まれ、予定通り過ごすことができ、笑顔あふれる修学旅行となりました。予想外の事態やトラブルが生じながらも今回の修学旅行を成功させることができたのは、学年全体で「準備」をしっかりと行ってきたこと、これまで「生活」を大切にし、自分たちで考えて行動する力をつけてきたことなど、改めて「準備（備える）」の大切さを感じたところです。

このところ日本各地で異常気象や地震による災害等も発生しています。「関東でもM7クラスの地震が30年以内に70%の確率で起こる」と言われており、自然災害はいつどのように起こるか予測が付きません。だからこそ『備(そな)えあれば憂(うれ)いなし』の言葉通り、命を守るための前もっての準備が欠かせません。6月25日の和光市地域防災訓練では、大和中の体育館も避難所とし、防災倉庫の確認や避難所の設営を行いました。本校でも有事での学校災害本部の立ち上げや教職員がどのような動きをするかを防災マニュアルに基づき確認をしました。また、生徒も地震や火事を想定した避難や、Jアラート(緊急地震速報含む)によるショート訓練を行い、避難経路の確認や整列・点呼が早く正確に行えるように訓練をしています。

避難時の基本は『命を守るための行動をする』ですが、災害はいつでも起こる可能性があります。保護者や教師の指示が得られない場合も想定されます。何かあったときにどのように動くか、学校でも生徒達に「災害発生時の対応」について指導してまいります。ご家庭でも以下の点についてお子さんと一緒に確認をしていただければと思います。

◎震度5弱以上の地震発生時の対応について

【在宅時】連絡があるまで自宅待機

【在校時】保護者引き取り

【登校時】安全な場所に避難・待機後、自宅又は学校の近い方へ(保護者不在の場合は学校)

◎通学路の安全確認

通学路で危険な場所(倒壊・落下の危険性のあるもの・ブロック塀)、避難できる場所を確認

◎家庭での確認

自宅の家具や電気製品・食器棚等の転倒防止、水や非常食・非常持出品の準備、避難所の確認

